

科目名	通信工学セミナー Seminar on Communication Engineering			担当教員	通信ネットワーク工学科教員		
学 年	4 年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	4
分 野	専門	授業形式	講義・演習	科目番号	17235020	単位区別	履修
学習目標	<p>コミュニケーション能力、技術文書作成に必要な基本知識と技術を習得する。プレゼンテーションの基本技術、情報収集と分析についての基本知識と技術を習得し、プロジェクトを進める能力を養う。</p> <p>卒業研究に取り組む際の導入教育として、研究分野の専門知識を得る。また、各教員の専門領域に関する講義を受け高度な関連技術に関する知識を得て、広い視野を持って技術の発展に対応する素養を身につける。また、身近な技術に関係した知識やスキルを幅広く得ることを目標とする。</p>						
進め方	<p>e-Learning, 講義と演習, 研究の形式による。共同作業を含む。</p> <p>e-Learning では, プロジェクト管理を行いながら指導教員の下で自学自習を進める。</p> <p>ゼミナールでは, 講義と演習, 配属された研究室での研究により学習を進める。</p>						
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
	<p>1. e-Learning グループプロジェクト (30)</p> <p>(1) プロジェクト管理入門</p> <p>(2) グループプロジェクト～テーマ選択～</p> <p>(3) プレゼンテーション入門</p> <p>(4) プレゼンテーション</p> <p>2. 電気回路補講「過渡現象」(8)</p> <p>3. 理科系文書の作法 (10)</p> <p>(1) 技術文書作成の基本知識</p> <p>(2) 文章作成の基本ルール</p> <p>(3) 科学・技術文書の書き方とルール</p> <p>(4) 図表の作成ルール</p> <p>4. グループ活動 (20)</p> <p>(1) 電波祭のクラス出展の制作活動</p> <p>(2) 電波祭のクラス出展の発表会</p> <p>5. 校外見学(4)</p> <p>6. 校外実習報告会(2)</p> <p>7. 講演会(4)</p> <p>8. 研究室紹介(2)</p> <p>9. 卒業研究中間報告会聴講(2)</p> <p>10. 卒業研究ゼミナール (34)</p> <p>(1) 文献講読会 (輪講), 実験装置・測定装置操作講習等, 卒業研究を推進するための基礎知識を習得する。</p> <p>(2) 発表会</p> <p>11. 卒業研究発表会に出席(4)</p>			<p>e-Learning により自学自習しながらプロジェクトを進めることができる。 B1:1,2, B2:1,2, B3:1-3</p> <p>プレゼンテーション資料を作成できるようになる。(相互評価を実施する) C4:1-6</p> <p>RL 直列回路や RC 直列回路等の単エネルギー回路の直流応答を計算し, 過渡応答の特徴を説明できる。 D2:3</p> <p>文書構成, 執筆方法など技術文書の常識を知る。学会論文誌掲載の学術論文を読むことで, 論文の内容と構成について学ぶ。グラフ作成, 表作成の演習を通じて, その作成方法を学習する。 C2:1,2, C3:1-3</p> <p>共同作業における注意点を学ぶ。学生間の相互評価により共同作業の注意点を発見する。 B1:1,2, B2:1,2, B3:1-3, C1:1, C3:1-3, E7:1,2</p> <p>興味を持って取り組める研究を見つけ, 卒業研究の配属先を決める。卒業研究を効率よく進めるための予備知識を得る。 D2:1-3, D5:1,2</p> <p>幅広い知識を得る。技術の変遷について知る。 D3:1,2, D4:1, D5:1,2</p>			
評価方法	<p>グループ活動の評価にあつては, 学生による相互評価結果を科目成績に反映させる。</p> <p>e-Learning による試験は実施するが, 定期試験でのペーパーテストは実施しない。授業の取組評価は行う。</p>						
履修要件	特になし						
関連科目	通信工学セミナー(4年) → 卒業研究(5年)						
教 材	教科書: 中島利勝, 塚本真也共著「知的な科学・技術文章の書き方」コロナ社 配布プリント						
備 考	この科目は指定科目です。この科目の単位修得が進級要件となりますので, 必ず修得して下さい。						